

令和7年度 開聞中学校区小中一貫教育 全体計画

開聞中学校区の目指す子供像

＜夢をもち 自ら考え行動する
生きる力にあふれる 開聞の子＞

- 1 学ぶ意欲と自ら学ぶ力をもつ子供
- 2 自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う子供
- 3 いのちを大切に、健康でたくましい子供
- 4 ふるさとに誇りをもち、夢や目標を実現する子供

本校区の児童生徒の実態

- 明るく素直で行事等に意欲的に取り組む。
- 学習習慣が身に付いていないため、基礎学力が定着していない。
- 自尊感情や自己肯定感が低い。
- 表現力やコミュニケーション能力が低い。

各段階で育成する資質・能力

【後期：中2～中3】

- リーダー性や個性を伸ばし、進路希望の実現を図る。

【中期：小5～中1】

- 夢や目標に向かう自主性を育成し、小・中学校の円滑な接続を行う。

【前期：小1～小4】

- きめ細やかな指導で、学びと育ちの基礎を培う。

本校区の課題

- 少子高齢化が進み、児童生徒数が減少している。

本校区の特徴

- 学校応援団活動が盛んで、学校教育に協力的である。
- 伝統的な文化が多く継承されている。
- 自然環境に恵まれている。

＜学びをつなぐ＞

＜育ちをつなぐ＞

＜人をつなぐ＞

重点目標

- 1 9年間を見通した特色あるカリキュラムの編成・実施

- 1 生活指導の「スタンダード」の確立と実践

- 1 児童生徒の交流活動の充実

具体的な取組

- ① 義務教育9年間を見通した外国語活動の展開(小中間における共通の年間指導計画の作成)
- ② 9年間の学びの連続を意識した指導計画の作成(特に小中間の円滑な接続に関する研究)
- ③ 各種学力検査の共同分析と活用

- ① 発達段階(前期・中期・後期)に応じた系統性のある「スタンダード」の設定と実践(基本的生活習慣の継続的な指導)
- ② 通信機器利用に関する共通理解と実践
- ③ 保健指導の充実(重点項目の設定)
＜むし歯治療率100%＞
- ④ 特別支援教育の充実(特別支援教育コーディネーターによる連絡会の実施)

- ① 小小、小中の交流活動や合同授業の実施
- ② 行事等における交流活動の実施(中学校文化祭、体育大会、部活動体験等)

重点目標

- 2 学習方法、学習習慣等の定着に向けた一貫した指導

- 2 いじめ、不登校等の生徒指導上の課題への連携した対応

- 2 教職員員の協働による指導力向上

具体的な取組

- ① 系統的な学習のしつけの共通実践(聞く・話す・書く)
- ② 小中一貫した授業スタイル
- ③ 基本的な学習のきまり、家庭学習の仕方に関する共通理解と継続した指導

- ① いじめ、不登校に関する情報連携・行動連携の確立
- ② 未然防止対策の進め方の共通理解
- ③ 担任・養護教諭による情報交換の実施

- ① 合同研修会の実施(年3回)
- ② 授業参観・授業研究の実施

重点目標

- 3 中期(小5～中1)における指導体制の工夫

- 3 一貫性のある「いぶ好き『ふるさと学』」の推進

- 3 学校、家庭、地域が一体となった豊かな教育環境づくり

具体的な取組

- ① 相互乗り入れ授業の実施(学期1回程度)
- ② 中学校体験入学の実施
- ③ 相互授業参観による研修の実施

- ① 小5・6・中1による「いぶ好き『ふるさと学』」(郷土芸能を学ぶ)交流活動の充実
- ② 中学校文化祭への小5・6年生の参加
- ③ 小・小交流活動(開聞・川尻)の実施

- ① いぶすき学校応援団との連携の充実(担当校を中心に)
- ② 開聞中校区「学校運営協議会」「青少年育成会議」の実施
- ③ PTAの連携活動の充実